



かわら版 & たから箱



保険料金変更あり

ボランティア保険 新年度スタート



新年度がはじまります。皆さんの優しい心を支える強い味方！ボランティア保険の加入手続きをお忘れなくお済ませください。ボランティア活動保険は新料金体系になり、ボランティア行事用保険のプランも一部変更になります。更新、新規ともに申込み窓口は社協です。また、保険に関するご質問も社協ボランティアセンターまで。☎72-2299 保険料変更については以下の通りです。

【ボランティア活動保険】

保険料金プラン		旧(平成28年度)	新(平成29年度)
Aプラン	基本タイプ	300円	350円
	天災タイプ (基本タイプ+地震・噴火・津波)	430円	500円
Bプラン	基本タイプ	450円	510円
	天災タイプ (基本タイプ+地震・噴火・津波)	650円	710円



【ボランティア行事用保険】

☆日帰り行事用に名簿の備付が不要の「Cプラン」が新設

社協以外が主催するサロン行事、居場所づくりなどの不特定多数の方が参加する日帰り行事を補償。最低加入人数20名の要件はありませんが、最低保険料として560円をお支払いただくことで加入できます。

☆「Aプラン」の最低加入人数(20名)の加入要件を廃止

20名未満の行事でも最低保険料として560円をお支払いただくことでご契約できます。

Face (^)2(^)Face ボランティア募集情報

ボランティアセンターでは「ちょっとやってみたい…」から「あんなことやってみたい！」まで、ボランティアさんの気持ちを大切に、いろいろな方と顔を合わせながら活動したいと思っています。

募集内容へのお問い合わせ、ボランティア依頼なども、お気軽に社協ボランティアセンターまで！！

子どもたちと一緒に遊んでください

『春休みしゃぼんだまの会(知的等障害児一時預かり事業)』

★高校・大学生大歓迎

内容：小学1年生～中学3年生までの知的等障害児とパン作り、外遊びなどを一緒に行います。

日時：平成29年3月27日(月)9時～15時頃

場所：りんどう会館および女性センター、清左衛門地獄池

備考：エプロン、三角巾、飲み物持参。

※昼食は用意します。



お話し相手を探しています

介護付き有料老人ホーム「和らぎ」

内容：施設利用者さんたちのお話し相手をしてください。

日時：平日10時半から1時間程度

備考：※お話し好きな方

※お話を聴くのが得意な方

まずはボランティアセンターまで

☎0465(72)2299



そだてよう！つくろう！岡本地区に支えあいの輪

岡本地区生活支援活動

おたがいさまネットおかもと

※おたがいさまネットおかもとは、住民主体の助けあいの組織です。

昨年2月から岡本地区生活支援活動準備委員会にて検討を進めてきました岡本地区での住民同士の助けあい組織「**おたがいさまネットおかもと**」がいよいよ4月から始動します。



2月に開催しました事業説明会（7地域の公民館）には、180名を超える皆様にご参加をいただくことができ、また、3月1日現在、活動の担い手であるサポーターとして152名の方が登録をしてくださいました。

活動のながれとしては、拠点である社協岡本支所（和田河原）で利用申込みを受付け、各地区に配置された（14自治会を7地区に分け）地区コーディネーターが活動の調整を行います。

利用できる人は、さまざまなご事情により日常生活にお困りの方です。また、利用のしやすさを考慮し、あえて有償の活動としています。

主な活動内容は・・・

- 日常支援活動 電球交換、家具の移動、掃除、買い物、草むしり等
- ふれあい活動 話し相手、囲碁将棋の相手、外出の付き添い等
- ゴミだし 燃えるゴミ、不燃ゴミ等 です。



今後は、地域の各種団体、関係機関の皆様と相互の連携を深めながら、身近な地域での助けあい活動の輪が広がっていくように一步一步活動をすすめていきます。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

地域福祉とびっくす

本年度の**社協ふれあい出前講座メニュー**で、**防災プログラム**が大人気でした。東日本大震災から間もなく6年。今回は、震災の記憶を風化させず、災害にも強いまちをつくっていかうとするみなさまの活動をご紹介します。

台河原地域

「災害時高齢者生活支援講習」(講師:日赤神奈川支部指導員)

定番になりつつある出前講座の人気メニュー。毛布で作るガウンや、段ボールを使っての足湯など、避難生活の中で役に立つ技術を学びました

狩野地域&広町地域

「防災講話」(講師:小田原市消防職員協議会)

小田原市消防職員協議会の方々の実践的な講話。地震のこと、消火器、非常用持ち出し袋のお話など、消防ならではの明快で、すぐに役立つお話が大変好評でした。

中沼地域

「避難所運営ゲーム(HUG)」

地域福祉会で、はじめてHUGを体験した中沼地域。凶上とは言い、災害時の困難を解決しながら避難所を運営しました。「気付いたら夢中になっていた」という感想が寄せられました。

◆地域のみなさまの要望で、どの場所にも出向く出前講座です。来年度も新メニューを用意しております。